



つなぐ



山口県センターHP

山口県地球温暖化防止活動推進センターとは

我々、山口県地球温暖化防止活動推進センター（公益財団法人山口県予防保健協会）は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき山口県知事より 2001 年 12 月 20 日に指定を受け、山口県内で地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」、「紹介・相談」、「調査研究」、「情報提供」などを行っています。

山口県地球温暖化防止活動推進センター活動をご紹介します。

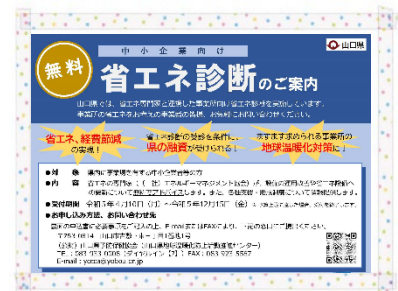
地域の人々へ地球温暖化の現状及び対策についての普及啓発を行う為、イベントなどに参加し、発電体験などを通して楽しみながら温暖化防止活動について学んでもらっています。



さらには、小学校等を対象に出前講座を行い、家庭で取り組める温暖化対策などを広くお伝えしています。

また、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、知事の委嘱により、地域で地球温暖化の現状や地球温暖化対策に関する知識の普及などの活動を行っていただく『地球温暖化防止活動推進員』の支援として研修会等を実施しています。

その他、山口県と連携し、中小企業を対象とした「脱炭素セミナー」や「省エネ診断」を行い、省エネや再エネに関する取組を紹介し、脱炭素化に向けた経営の合理化をサポートする活動も行っています。



育てて食べよう 地産地消

野菜の種をプレゼントします。

地産地消の活動を通して環境にやさしい生産・消費活動に貢献できます。この機会に家庭菜園にチャレンジしてみてください。

また、**最後のページのアンケートにもご協力下さい。**



デコ活

くらしの中のエコろがけ

2050 年カーボンニュートラル及び 2030 年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、**新しい国民運動『デコ活』**を展開中です。

『デコ活』とは、二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

衣食住など、あらゆる生活場面で豊かで脱炭素に貢献する暮らしに向けた具体的なアクション・選択肢の提示を行い、国、自治体、企業、団体等で共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。



脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿





「デコ活アクション」 まずはここからはじめてみませんか？



デ

電気も省エネ 断熱住宅（電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む）

コ

こだわる楽しさ エコグッズ（LED・省エネ家電などを選ぶ）

力

感謝の心 食べ残しゼロ（食品の食べ切り、食材の使い切り）



ツ

つながるオフィス テレワーク（どこでもつながれば、そこが仕事場に）



移

- ◇ 環境にやさしい次世代自動車を選ぶ
- ◇ できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する
- ◇ カーシェア、シェアサイクルを利用する



食

- ◇ 地元産の旬の食材を積極的に選ぶ
- ◇ 有機（オーガニック）食品などを生活の中に取り入れる
- ◇ 販売期限間際の商品の購入



衣

- ◇ 生活にあった形で食の自産自消を取り入れる
- ◇ クールビズ・ウォームビズに取り組む
- ◇ サステナブルファッションに取り組む



住

- ◇ 節水できる機器、高効率の給湯器を選ぶ
- ◇ 太陽光発電など、再生可能エネルギーを取り入れる
- ◇ ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する
- ◇ 宅配便は一度で受け取る



買

- ◇ はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う
- ◇ リサイクル・リユース品の購入



以上に限るものではなく、暮らしが豊かになり脱炭素などに貢献していくものは、すべてデコ活アクションです。あなたができる「デコ活」を探してみてください。



デコ活

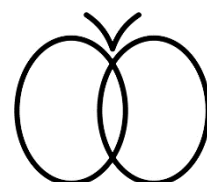


くらしの中のエコがけ

～デコ活ロゴマークについて～

ロゴマークは一人一人の日常の取組が地球を変える大きなうねりになる「バタフライエフェクト」をイメージした、シンプルな蝶のデザインです。

出典：環境省 HP (<https://ondankataisaku.env.go.jp/dekokatsu/>)



力 「感謝の心 食べ残しゼロ」

「デコ活アクション」の一つ「感謝の心 食べ残しゼロ」。私たちにできるアクションを考えてみましょう。

●『食品ロス』とは

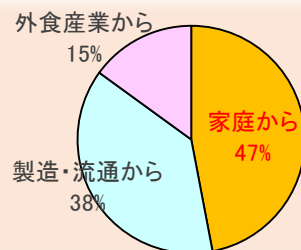
「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことを言います。

日本の食品ロス量は、約 523 万トン（うち、事業系食品ロス量：279 万トン、家庭系食品ロス量：244 万トン）と推計されています。

山口県の食品ロス量は、年間約 5.5 万 t と推計されており、家庭から 47%、製造・流通から 38%、外食産業から 15%となっています。（令和 3 年度）

出典：山口県廃棄物・リサイクル対策課 HP

(<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/40/20811.html>)



●家庭から食品ロスをなくすには？

家庭から発生する食品ロスを削減するためには、皆さん一人一人が行動を少し変えることが重要です。今日から自分にできることにチャレンジしましょう。

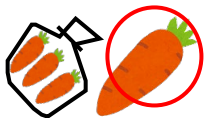
購入する時



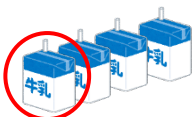
買い物前に冷蔵庫の
在庫チェック



買いすぎない



ばら売りや量り売り
を活用



手前どり

作る時

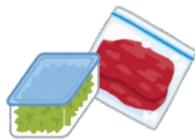


作りすぎない



野菜の皮など食材の
使いきり

保存する時



食材にあった
保存方法を



賞味期限や消費期
限を確認

外食する時



食べきれない量の
注文



食べられない食材が
あるか事前に確認

3010
運動

宴会等では「30・10
運動」を心がける

◎賞味期限 ⇒ おいしく食べることができる期限です。

◎消費期限 ⇒ 過ぎたら食べない方がよい期限です。

※両方とも未開封の状態で、表示されている保存方法に従って保存している状態の場合に限ります。

出典：消費者庁 HP (<https://www.no-foodloss.caa.go.jp/eating-home.html>)

◎3010（さんまるいちまる）運動とは？

<乾杯後 30 分間>は席を立たずに料理を楽しみましょう。

<お開き 10 分前>になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。

出典：環境省 HP (<https://www.env.go.jp/recycle/food/3010pop.html>)

発行：山口県地球温暖化防止活動推進センター
（公益財団法人山口県予防保健協会）
〒753-0814 山口市吉敷下東三丁目 1-1
TEL: 083-933-0008 ダイヤル「7」 FAX: 083-923-5567
URL: <http://www.yobou.or.jp/ycccahome>

QR コードを読み取ってデコ活と
食ロスについての簡単なアンケート
（6 問）にご協力をお願いします。
※アンケートは Google フォームを
使用しています。

